

**市民環境部長** 大村市一般廃棄

物処理基本計画において、廃棄物対策に対する基本理念を、ごみを出さない資源循環型のまちづくりと定めている。この基本理念に基づき、「ごみの発生抑制・減量化の推進、リサイクル・分別排出の推進、廃棄物の適正な処理の推進、参加と協働によるごみ対策を基本方針として掲げており、市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいる。

**都市整備部長** 事前協議は、

市・消防・警察等の関係機関が寄つて技術的な見地、法的な見地から判定するものであり、地元住民の方の御意見を伺う場とはなっておりません。

**市民環境部長** 廃棄物の処理及び

清掃に関する法律等によって運搬及び処理が規制されている。そういう中で、条例等で規制ができないと考えている。県外からの産業廃棄物の処理については、県の指導要綱により、事前協議等で制限をしていると考えている。

**助役** エコタウンは、基本的に

産業廃棄物の問題であるので、県も前向きに取り組みをしていると伺っている。本当に実現可能かどうか、県とよく協議をしたい。

**(その他の質問事項)**

災害時の防災行政無線の設置。大村市を観光都市として定着させるための広告活動について。

中心市街地区域内に住宅等を建設する場合に建設費の一部助成を！  
シヨップモビリティの導入を！

**永尾議員** 企画商工行政について

中心市街地区域内の人口は、年々減少しており、かつて買い物客で大変賑わった中央商店街も、シャッターを下ろした店が増え、空き店舗率も約26%になっている。空洞化が深刻な地方都市中心部へ人を呼び戻すため、国土交通省は、民間投資の呼び水となる必要があると判断し、国が住宅建設を後押しする政策を推進している。国が1/3補助する中心市街地区域内への民間の活力を利用した、高齢者向け優良賃貸住宅建設の促進、又中心市街地区域内に住宅を建設する場合に建設費の一部助成の導入の考えはないか。  
アーケード内でのシヨップモビリティ、いわゆる高齢者や体の不自由な方など、アーケード内の移動の手段として、電動スクーター等を貸出し、買い物などを楽んでもらうシステムで

あるが、気軽に商店街に出て買い物を楽しむことができれば、引きこもり予防ともなり、更には、アーケードの賑わいを取り戻し経済効果も期待できると思うが導入の考えはないか。

**市長** 中心市街地区域内への民間

の活力を利用した高齢者向けの優良賃貸住宅建設の誘導、これは極めて効果的な施策の一つである。住宅建設の誘導、更に一般住宅建設に対する建設費の一部助成は、この地域への定住者の増加につながると思う。ひいては商店街の活性化につながる有効な方法であると確信している。この優良賃貸住宅建設に向けて、特に高齢者のための住宅建設の助成制度について、前向きに調査研究をしたい。

アーケードに賑わいを取り戻すための一つの方法と思うが、現在の厳しい財政状況の中では、早急な対応は困難と考える。電動スクーターの導入は、多額の初期経費や管理運営についても相当の経費を要するため、実施が可能かどうか、例えば1/2台テストケース的なものも一つ考えられると思うが、今後研究してまいりたい。



通学路の安全対策と介護保険制度改正の状況およびタイムケアの実施に向けて

**田中秀和議員** (1)教育行政について

小中学校の遠距離通学助成制度の縮小により、どれくらいの子どもたちがバス通学から徒歩での通学に変わったのか。徒歩通学が増えれば、当然のこととして、通学路の安全確保に、より努めなければならぬと考えるが、その対応は。

(2)福祉保健行政について

老人保健、介護予防・地域支援合い、在宅介護支援の介護保険化で大幅値上げとなるのではと心配しているが、大村市の介護保険料は18年度からいくらになるのか。また地域密着型とされるグループホームの市外からの入居者は、住所変更をして大村市の被保険者になってしまうのか。

障害児タイムケアサービスのニーズ調査はできたのか。また本人負担額の1回千円はあまりにも高すぎると思うが安くできないか。さらに夏休みに間に合わせるようにすべき。

**教育次長** (1)新1年生や転居など

の要因があるため正確な把握はできないが、補助金の16年度実